



学校便り 「志々伎の風」

No. 2

令和元年 5月22日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

目指す児童像

- 「自然に親しむ優しい子ども」
- 「自分で学び考える子ども」
- 「気力・体力を高める子ども」
- 「将来の夢をめざす子ども」

【ふれあい運動会】

『志々伎のみんなで心をついに思い出に残る運動会にしよう』のスローガンのもと、運動会に取り組んできました。その中で、数多くのがんばりや成長を感じました。

- ① 給食時間の放送で、2～6年生全員がマイクの前で物おじせず力強く大きな声で「志々伎応援歌」を歌いました。1年生は録音でしたが勢いのある元気な声でした。
- ② 10連休をはさみながらも、ダンスや様々な動きをほとんど忘れることなく一生懸命に練習に取り組みました。
- ③ 金曜日の準備、何人もの子が自分の仕事が終わると、「他に仕事はないですか？」とたずねて来ました。
- ④ 運動会当日の係の仕事、きびきびと動く姿が印象的でした。
- ⑤ どの競技やダンスでも、全力・笑顔がみられました。
- ⑥ 閉会式、疲れてだれてしまうことがよくありますが、全ての学年ビシッとした姿勢で臨んでいました。

スローガンを十二分に達成できたと思っています。「勤労」「忍耐強さ」「思いやり」「家族愛・郷土愛」が育ったと思っています。これも保護者・地域の皆様の支えや応援のおかげです。ありがとうございました。

【親子で読書・みんなで読書】

夏の川で、ゲンタはカッパの網にかかってしまいます。川の奥の世界までつれていかれると、ふんぞりかえっていぼっているカッパが1匹います。いじわるなのか、やさしいのか、よくわからないカッパです。



仲間が次々にいなくなると、今は一人きりだとしょげています。そこで、ゲンタは、カッパのぬけがらを着て、しばらくカッパと一緒にくらすことにしました。

【更生保護女性会】

4月に更生保護女性会の皆様が、1年生に入学祝いのプレゼント(ノート等)を持ってきてくださいました。1年生は、自己紹介の中でおじいちゃんやおばあちゃんの名前を述べ、「ああ、〇〇さんのお孫さんね」の声がかれました。ありがとうございました。



【おさかな祭り】

おさかな祭りのお店へ、子どもたちが参加するようになり4年目になりました。4年前と比べると、お店での声や呼び込みをして回る子どもたちの声がとて大きくなり、表情も明るくいきいきとってきました。小さな学校の子どもたちにありがちな人見知りやしがちで、コミュニケーション力が低いという面が克服されています。また、地域の祭りに参加し深くかかわることで、志々伎愛が高まっています。

ご協力してくださった志々伎漁協・漁協婦人部をはじめとする皆様、ありがとうございました。